

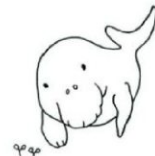
ジュゴン Vol.65

ちゃんぷるニュース



2012. 12. 4

CONTENTS



- 2/3 辺野古アセス有識者研究会
- 日米地位協定の問題点
- 政府交渉で署名を提出
- 4/5 全国でオスプレイ反対行動
- 6/7 活動報告
- おきなわ便り
- 8 お知らせ

10月1日 米海兵隊はMV22 オスプレイを普天間基地に配備した。県民ぐるみの配備反対の意思を米軍は全く無視し、日本政府はこれを容認した。民主主義を踏みしめる暴挙であり、腹の底からの怒りを感じる。

沖縄県民はこの配備強行に普天間基地の大山、野嵩、佐真下の三つのゲートの封鎖で応えた。大山、野嵩ゲート前の抗議行動は、現在も連日続けられている。

米軍は配備直後から沖縄全島で、オスプレイの低空飛行訓練を開始した。浦添ではアパートの屋上をかすめ、沖縄国立高専の上空を通り、高江上空にも出現した。伊江島では農作業地の上空で3トンのブロックを釣り上げる訓練をした。「ヘリモードは基地上空だけ」という約束は、配備のその日に破られた。県民を威圧し、沖縄全土を訓練場と化している。この威圧によって、日米政府は「普天間代替施設」すなわち辺野古新基地建設を県民に強要している。

オスプレイも普天間基地もいりまへん!

しかし、沖縄県民の意思をくじくことはできない。12月23日には普天間基地周辺で1万人規模の「オスプレイ撤去! 米兵による凶悪事件糾弾! 怒りの御万人(うまんちゅ)大行動」が計画されている。本土での行動も広がっている。11月4日東京では、オスプレイ配備撤回を求める国会前行動が4000名で行われ、SDCCも参加した。11月21日には対政府交渉と署名提出を行った。大阪では11月29日、アメリカ領事館要請と街頭宣伝の半日行動にSDCCは取り組む。本土の行動をもっと広げることが重要だ。基地と住民生活、基地と自然環境保護は両立しない。オスプレイ配備撤回、普天間基地閉鎖、辺野古新基地中止を実現しよう。そして辺野古大浦湾にジュゴンの保護区をつくってこよう。

(関西 松島洋介)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



11/29 大阪領事館への要請行動



写真展ブースでジュゴンマスコットを買って大事に抱きかかえてくれる子供たち(6面)

情勢

＜科学的見識が求められる有識者研究会＞



森本防衛大臣は記者会見(10/1)で、辺野古大浦湾の環境アセス評価書の補正作業があと2,3か月ぐらいで年内作業を終え、評価補正の公告・縦覧(1か月)して埋め立て申請することを明らかにしました。10月24日、仲井真沖縄県知事は、来年1月に埋め立て申請が出れば、来年8月から12月までに承認するか否かを判断しなければならないとしています。年末を前に辺野古アセスの動きが緊迫してきています。この間の動きを振り返ります。

今年2月に沖縄県知事は「評価書への知事意見」として、飛行場設置事業に175件、埋め立て事業に404件の問題点を指摘し、「現行計画では生活環境及び自然環境の保全は不可能」としました。これに対して、防衛省は「評価書の補正のための有識者研究会」(大臣の諮問機関)を設置して4月から非公開の会合を積み重ね、9月25日に中間報告を出しました。中間報告は「(現地調査は)細部にわたり、よく実施されている」とした上で「(影響評価は)抽象的な表現が多く、根拠が明確でない部分がある」としています。すなわち、現地調査のやり直しは必要でなく、評価を数量的に明示すればよいとしました。評価書の表現を変えることで、「現行計画では生活環境及び自然環境の保全は不可能」との知事意見に応えられるとしているのです。

11月6日に共同通信が「防衛局がウミガメ産卵確認 普天間の移設予定地」との記事を配信しました。共同通信が情報公開請求で、防衛局が環境アセス調査後の09年、10年に建設予定地でウミガメが産卵しふ化していたことを確認していたことを明らかにしました。都合の悪い事実を隠していたのです。ジュゴンについても同様です。環境アセス調査後に建設予定地の海域でジュゴンの食み跡やジュゴンの回遊が発見されています。これは月5日、1日8時間、広域・重点合わせて毎月80時間の航空調査の騒音がジュゴンなどを辺野古沿岸域周辺から追い出していたと想定できます。有識者研究会は科学的見識を持って、知事意見を真剣に検討すべきです。



住宅地上空を飛び、着陸体勢に入るオスプレイ「02」

沖縄タイムス 11/3

コラム

日米地位協定の問題点

米兵による婦女暴行事件が沖縄で頻繁に起こっています。基地あるが故の犯罪です。在日米軍の法的地位を定めた日米地位協定が犯罪を犯した米兵を守っている実態があることはよく知られています。11月6日、那覇市内で「米兵による集団強姦致傷事件に抗議し、オスプレイ撤去を求める女性集会」が開かれました。沖縄では「空にはオスプレイ、地上には米兵の暴行事件」と軍事的植民地状態を表す言葉が広がっています。

本土でもオスプレイの低空飛行訓練が11月にも準備されています。7本のルートは日米間で合意したルートではありません。米軍は「施設間移動」(地位協定5条2)を拡大解釈することで低空飛行訓練を行い、日本政府は黙認しています。昨年9月には岩国基地所属の戦闘機が島根県の小学校の上を「操縦士の顔が見えるくらいの高さ」で飛行しています。昨年3月には低空飛行訓練で岡山県の民家の土蔵が倒壊しました。人権を守れない日米地位協定など必要ありません。

(事務局 蛭川義章)

11月21日政府交渉で署名を提出

今回の政府交渉では、外務省には国際自然保護連合（IUCN）第5回世界自然保護会議で参加者から集めた2008年IUCN決議の履行を求める賛同署名2135筆（82か国）を提出。環境省には「基地ではなくジュゴン保護区」を求める署名8665筆、3年間の累計では6万3963筆を提出しました。外務省は来年3月に開かれるワシントン条約会合などで生息地の保全を進めるべく努力したい。環境省は種の保存法国内希少種に指定することを視野に入れて取り組みを進めたいとはじめて決意を述べました。

次に、辺野古大浦湾の環境アセスメントが最終段階になり、防衛省、環境省を追及しました。環境アセスの現地調査終了後（09年3月）に事業地内でウミガメが産卵していたことや、大浦湾奥部に移動するジュゴンや海草藻場にジュゴンの食み跡が数多く発見されています。現地調査での航空調査（毎月80時間、高度150m・2キロ間隔の低空飛行）がジュゴンやウミガメを辺野古大浦湾から追い出していたと考えられます。調査のやり直しを求めない有識者研究会（中間整理）を批判したうえで、現行計画では環境保全は不可能とする知事意見の取り扱いを追及しました。防衛省は「最新の知見は活用する。有識者研究会の答申と知事意見をふまえて評価補正の作業を年内に完了する」と回答しました。環境保全措置を埋め立て申請までに明らかにすることについては、「規定さ



外務省に、IUCN・チェジュ会議で参加者から集めた賛同署名2135筆（82か国）を提出。

れていないので個々に判断する」との姿勢を変えませんでした。埋め立て土砂の購入先は「申請書には明記する」ことを明らかにしました。環境省は辺野古移設事業に当初から関わっていたにもかかわらず、個々の事案について意見は控えるとの一点張り。環境影響評価法の番人としての責任回避を厳しく批判しました。



防衛省での交渉の様子

最後に、危険なオスプレイ配備や日米地位協定について、外務省と防衛省に国内法にある人権の保護を優先することを求めました。沖縄県が取り組んでいるオスプレイの被害情報が明らかになったときは、事実確認のうえ日米合同委員会で合意を順守することを求めるとしました。

（事務局 蜷川義章）



環境省には「基地ではなくジュゴン保護区」を求める署名8665筆、累計6万3963筆を提出



沖縄から

全国に広げよう☆

NO! オスプレイの声

沖縄

11・4全国集会に参加して

沖縄中が、オスプレイ配備の反対行動を続けてきたにも拘わらず、オスプレイが配備され、今では12機が、沖縄の空を昼夜を問わず住宅密集地でも飛び続け、人々を恐怖に陥れています。そんな中、東京で「止めるぞ！オスプレイの沖縄配備、許すな！低空飛行訓練、11・4全国集会」が、芝公園23号地で開かれました。

主催者が「オスプレイを沖縄から追い出そう！全国での低空飛行訓練をやめさせる運動を作り上げていこう！」と挨拶。沖縄の山城博治さん（沖縄平和運動センター・事務局長）は、「日米両政府は、沖縄の人の命と生活を踏みにじっている。自分たち自身で命を守るしかない。毎日、普天間のゲート前で座り込みして抗議行動をしている」と話し、桃原功さん（普天間基地爆音訴訟団・事務局次長、宜野湾市議）は、「米兵の事件が続いている。沖縄県民は安心して外にも出られないのか！自分の家の中でも安心して眠れないのか！」と怒りを露わにしました。集会後は、「NO OSPREY」を繰り返しながら、「沖縄を返せ」や「一坪たりとも渡すまい」を歌いながらデモ行進しました。約4千人強の熱いエネルギーに、力強さと運動の広がりを確信しました。

（首都圏 宮城韶子）

東京



紅型衣装で幟旗と風船を持って行進に参加



11/23 普天間基地ゲート前

粘り強く続くオスプレイ配備反対運動

10月1日、オスプレイ配備に対する沖縄県民の反対の声を完全に無視するように、日米両政府はオスプレイ配備を強行しました。そして沖縄では今、両政府自らが決めた飛行規則を破りながら、オスプレイは騒音と危険を撒き散らしています。

しかしこの状況のなかでも、沖縄のオスプレイ配備反対の動きは粘り強く続いています。

特に普天間基地のゲート前では、平和団体が中心となり、ローテーションを組んで、朝夕の座り込みが連日行われています。英語のバナーやプラカードも目立つようになり、英語でのシュプレヒコールも聞かれます。オスプレイ配備や基地の危険性や非民主主義性、そして沖縄の平和への思いを、出退勤する米兵達に直接訴えています。また風船や凧を揚げての反対運動は、オスプレイの危険性については勿論、住宅地のまっただ中に普天間基地があることの異常性を再度、日米両政府に、そして沖縄県民にも問いかけています。ゲート前を通る車がクラクションを鳴らし、座り込みへの応援と、オスプレイ配備への反対を訴えています。

オスプレイの問題も、簡単には解決しないでしょう。しかし沖縄の人々は、解決を目指して、自分たちの今出来る事を行っています。自治体や地域レベルでの配備反対集会も次々と開かれています。12月23日には普天間基地包囲行動（※）が予定されています。これからが正念場です。

※12時～ 宜野湾海浜公園屋外劇場

集会後、普天間基地の大山ゲートまで大行進！

（沖縄 吉川秀樹）

IUCN・チェジュ会議の報告会

関西

10月27日(土)、大阪・弁天町市民
学習センターで、チェジュ会議の参加

報告会をしました。「インターネットで検索して、この報告会を見つけました」という初参加の親子さん、友達に誘われて初参加という方、久しぶりの方、常連さんなど、23名の参加がありました。国際会議というと、近寄りやすいイメージを持たれがちですが、本会議場前でのジュゴンロック・ダンスや、ロビーに突如現れたカンジョン村の基地反対ブースに対して、会議参加者が共感したり、あたたかく見守っていたことなど、自由で豊かな会議の雰囲気を感じることができました。また、地元の子どもたちが、熱心に話を聞いて、自発的に署名してくれたことから、社会活動への参加に熱心な韓国教育の様子が垣間見えたり、と肌で感じて来たことをお話しできました。やはり、顔を合わせてお話しできる報告会の場は大切です。もっとSDCC 会員さんはじめたくさんの方に参加してもらえる学習会やつどいを企画していきたいと思いました。(関西 山根富貴子)



首都圏

10月19日、IUCN 世界大会の報告会を開催しました。顔なじみの方や久しぶりの方など13名の参加。蜷川事務局長から総括的な報告と、映像を見ながら大会参加者からの感想を聞き「初めての参加でしたが、とても楽しかった。」「エイサーでの衣装が注目を浴びアピール効果があった。」とのコメントがありました。大会にスタッフ16名が参加し、ブースや本会議場ロビーでの署名集め、ジュゴン着ぐるみ、紅型衣装やエイサー衣装でジュゴンロックなどのパフォーマンスやジュゴン折り紙が好評だったこと、ブース会場の壁面に展示した全国から集めたジュゴンフラッグも注目されたこと、平和コンサートのことを報告。

大会でたくさんの活動をしてきたことで、ジュゴン旋風を巻き起こしたことを感じてもらいました。最後に沖縄出身の宮城さんから、ご自身や家族が経験した事件や事故を話し、「二度と起こさないためにも本土でも連携していきましょう!」と、11月4日のオスプレイ配備反対全国集会への参加をアピールしました。

(首都圏 矢敷克子)



大阪

ロビーでブースを出しました



10/28(日)、エルシアターで開催された「戦争あかん! 基地いらん! 2012 関西のつどい」に参加。

元宜野野市長の伊波洋一さんが「本土での沖縄につながった行動が一層大切」と訴えられました。

京都



京都の仲間といっしょにデモ出発

10/21、京都円山公園で開催された、「変えよう! 日本と世界 反戦・反貧困・反差別共同行動 IN 京都」に参加

イルカコンサートに参加してきました！

「国連生物多様性の10年～2012イルカプロデュース まあるい地球コンサート Vol.3」に参加してきました。このコンサートは、2010年に行われたCOP10に合わせ、IUCN 親善大使である歌手のイルカさんが、コンサートしたのをきっかけに毎年名古屋で行われ、今回で3回目の開催です。IUCN メンバーであるSDCC はイルカさんのご好意で会場内でブース出店しました。

私たちの他に会場では、にじゅうまるプロジェクトのスタッフの人たちやウミガメ協議会の方と一緒にさせていただきました（写真：下）。知った顔ぶれでもあり、にぎやかに開場までジュゴンやイルカなどの折り紙制作をしながら話に花が咲きました。

コンサートではイルカさんが今年のIUCN に参加したことや私たちがブース出店していることを話してくれました。おかげで帰りのブースは大盛況となり二人で対応するのがとても大変でした。まさに嬉しい悲鳴です。そしてたくさんのカンパもいただきました。このお金はSDCC の活動資金として大切にに使わせていただきます。ありがとうございました！（関西：上田千鶴）

立命館大学で「出張授業」やりました！

7月の十三シアターセブンでの「ラブ沖縄」上映会イベントで知り合った立命館大学講師の池尾靖志さんと交流会で意気投合、大学で講義させてもらう約束を取り付けた。

お酒の席での話しか？と危ぶんだものの10月23日にSDCC 元三人娘で出かけてきました。これから社会に出て未来を担う若い世代に話せる機会、少し緊張しながらもがんばって準備しました。

「沖縄のジュゴンと基地」「SDCC の取り組み」「国際会議への参加」など2つの講義で200人ほどに精一杯話しました。何か1つでも関心を持ち考えるきっかけになり、行動につながればと。

たくさん質問があり、署名にも応えてくれ、さっそくツイッターにも嬉しい反応がありました（やった～♪）。最近の沖縄タイムス連載記事「高江の闘い、足跡と意義」（池尾靖志著）を講義で使うとのこと、学生達の反応を期待したい。

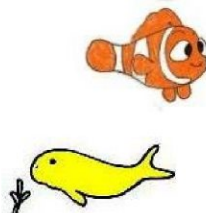
SDCC はどこへでも人が集まれば『出張授業』やります！！ぜひお声かけくださいませ。（関西 池側恵美子）

活動報告



海ガメも一緒に「にじゅうまるポーズ」！

（写真提供 にじゅうまるプロジェクト）



皆さん真剣に聞いて下さいました

～ 四天王寺で写真展示 ～

11月3日は大阪の四天王寺境内で行われた「いのち紡ぐわたしたち」というイベントで写真展のブースを出店しました。これは「いいお産の日」にいのちや性・食・体や暮らしに関する情報を提供する講演、ワークショップ、模擬店などを開いて、女性としてすこやかに生き、産み育むことを次世代につなげようとするイベントです。私たちは牧志治さんの写真展示ブースを出して、いのちを育む辺野古・大浦湾のすばらしさを多くの人に見て、知ってもらう企画です。

会場となった四天王寺は聖徳太子によって建立された日本最古の寺院で、境内ではよく骨董市や古本市が盛大に行われ多くの人で賑わう場所です。この日も多くのカップル



や若い親子連れから年配の方々まで様々な方が写真をじっくり見て下さり、その海が埋め立ての危機にあることを知ると、皆さん進んで署名をして下さいました。

（関西 海勢頭聖）



会場一角にさわやかな海の写真

こんな日本見たくもない! ~ころむ・コラム~

「近いうち解散すると約束したじゃないですか」。党首討論でまくしたてた自民党総裁の顔は見るのも嫌だった。まるで民主党が日本を悪くしたと言わんばかりだが、違いうら。自民党の尻拭いをしているうちに東日本大震災そして福島第一原発事故発災でパニックを起こし、民主党もマニフェストどころではなかった。しめしめと思ったのは自民党だろう。あのまま政権を担っていたら一体どうなっていたことやら。幸い下野していたため、むしろ暴動など起こされずにすんだ、というものだ。

国民も民主党に期待した分、自制心が働き、怒りの矛先を冷静に見極めることができた。反原発運動が正にそれだ。しかし自民党もダメ民主党もダメと言うだけでは、この国の正体を見たことにはならない。沖縄普天間基地の辺野古移設反対も、鳩山初代民主党総理が「最低でも県外」と言ってくれたお陰で、運動を継続させることが出来た。そして自公で当選した仲井真知事も中央とのねじれのお陰があって、県民と行動を共にすることが

できた。もしも自民党政権が続いていたらこうはいかなかっただろう。鳩山の宇宙的言葉のお陰で米国主導の移設作業をしばしストップさせることができたし、また防衛省の提出した環境アセスのでたらめさも充分にあばき、反論する時間を稼げた。

しかし結局米軍に屈服した民主党も辺野古回帰を言わざるを得なくなってしまった。そしてとうとうオスプレイを強行配備するに至り、沖縄の信用を失うことになった。ついに日本が米軍支配下の偽独立国家であることが明白になった今、政治家もマスコミも国民もその実態を明かす勇気を持たないままに、総選挙に突入してしまったのである。そして火事場泥棒的に次期政権を狙い、憲法を改悪し、軍隊を持つ国にしようとする戦犯の血脈が動き出しているから恐ろしい。そんな国にでもなったら特措法で辺野古の海が埋め立てられるのは目に見えている。そんな日本は見たくないのだ。

海勢頭豊 (うみせど ゆたか : SDCC 共同代表)



おきなわ便り

~旧暦の大晦日について~

沖縄には、旧暦の大晦日にヒヌカンという家庭の火の神様に新年のお願いをする行事があります。

行事は、旧暦の12月24日から始まります。

ヒヌカンへヒラウコウ（平たいお線香）を7本、階段のように段違いに一列に立てて、今年の家族の健康や、土地・家などを守ってくれてありがとうございましたと祈ります。

ヒヌカンの神様は、天の神様の元へ、ヒラウコウの階段を登って今年一年の報告をしに天へ上がっていきます。その際に、一年間つけた帳簿を持参して報告すると言われており、帳簿の内容は、誰々は良いことをした、悪いことをしたなどの内容だそうです。

「人が見てないところで悪いことをしても神様が見ている」と言われるように、帳簿に記載され報告されるんですね。

その後、旧暦12月最終日の大晦日、ヒラウコウ（平たいお線香）5本を12月24日と同じように立て、紅白の紙と、鏡餅をお供えします。ヒヌカンの神様が、天の神様の所からヒラウコウの階段を使って降りてきますので、新年の家族の健康や、土地・家をお守りくださいとお願いをします。

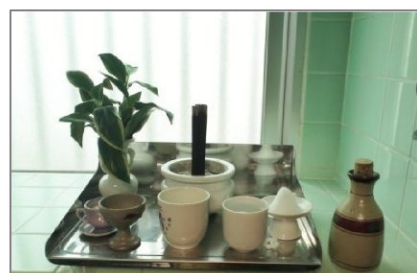
旧暦の12月24日~30日は、ヒヌカンの神様の出張です。約1週間もかかるので遠いところなんでしょうね。

11月3日(大阪)

団結まつり☆参加しました



ジュゴンのお店
おでんと日本酒が
大人気。完売御礼です。



台所に祀られるヒヌカン
(本文とは異なります)

この風習は、沖縄でも地域によってやり方が違ってきます。

我が家の旧暦の大晦日についての話でした。

(沖縄 仲村)

INFORMATION

映画 ひまわり ～沖縄は忘れないあの日の空を～

【沖縄県・完成披露試写会】

12月8日(土) 13時 うるま市石川会館
19時 那覇市民会館大ホール

東京都・完成披露試写会

12月14日(金) ①10時30分 ②13時50分
東京有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)

大阪府・完成披露試写会

12月21日(金) ①10時30分 ②12時50分 ③15時10分
④19時

阿倍野区民センター大ホール

先行ロードショー

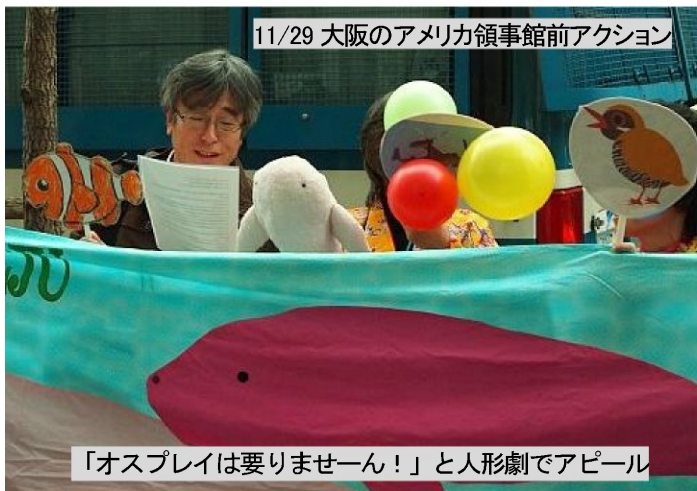
東京 2013年1月26日(土)より 新宿・武蔵野館

大阪 2013年2月中旬より 梅田ガーデンシネマ

※SDCCでもチケット(1枚1000円)を取り扱っています。
お問い合わせは、下記事務所まで。



1959年6月、沖縄・宮森小学校に米軍ジェット機が
炎上墜落した大惨事を題材とするドラマを映画化



11/29 大阪のアメリカ領事館前アクション

「オスプレイは要りませーん！」と人形劇でアピール

クリスマスプレゼント & お年賀に



SDCC特製一筆せん 1冊200円
SDCC特製缶バッジ 1個200円
どちらも送料は一律80円です。
お申し込み、お問い合わせは下記事務所まで。
詳細は、HPをご覧ください。

今後の予定

沖縄 <怒りの御万人大行進>

日時: 12月23日(日) 12:00~

場所: 宜野湾海浜公園屋外劇場

そのあと、普天間基地の大山ゲートまで大行進!

東京 <脱原発会議2「市民のひろば」>

日時: 12月15日(土) 11時~17時

16日(日) 10時~16時

場所: 日比谷公園 ☆ブース出します

大阪 <いきものカフェ@モモの家>

~いのちのつながりの今とこれから~

12月26日(水) 18:00~22:00

場所: モモの家(阪急吹田駅下車)

☆関西スタッフが沖縄の状況をレポートします

Editor's Note イラク、アフガン撤退に伴い、
海兵隊の日本への巡回配備が再開され、5000人規模
の派遣が見込まれるらしい(11/18 タイムス)。宿舎の
不足から基地外居住も増加の見込み。夜間外出など
取り締まりようもない状況が拡大の一途。いい加減に
してほしいものです。(S)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.65 2012年12月4日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

